

## 平成29年度 福岡市学習定着度に関する調査結果（中1）について

平成29年11月28日に行われた福岡市学習定着度に関する調査の結果ができましたので、本校の結果概要をお知らせします。

### 1年生国語

#### <分析>

- ・本校の国語の平均正答率は、概ね福岡市の平均と同程度であった。
- ・市平均を1点以上上回っていたのは「説明的文章」に書かれた情報を正しく読み取れているかを問う問題であった。
- ・市平均を僅かに下回っていたのは、資料の内容をまとめなおす「書くこと」に関する問いと、「文学的文章」の「人物の行動を通して思いを推し量れているか」を問う問題であった。
- ・以上のことから、今後、1年生が伸ばすべき領域は「資料の読解能力」や「登場人物の心情を読み解く力」といった「読むこと」に関する領域であると考えます。

#### <対策>

- ・この実態から、読解に必要な語彙を増やす活動、そして登場人物の心情を記述に即して推し量る活動を授業の中で増やしていきたいと考えている。
- ・「書くこと」に関しては、授業でも大きく扱ってきたが、作文形式の出題が多いので、要約や資料の読み込みなど、様々なバリエーションの問いに触れさせていきたい。
- ・慣用表現などに積極的に触れさせ、言葉の細かい意味を意識させながら読解活動に取り組ませる。

### 1年生数学

#### <分析>

- ・本校の数学の平均正答率は、福岡市の平均正答率と比べ同程度であるという結果であった。
- ・「数学的な技能」「数学的な見方や考え方」は、福岡市平均と同程度であるが、「数量や図形などについての知識・理解」が6%ほど下回っている。
- ・「文字を用いた式」は、福岡市の平均を上回っている。

#### <対策>

- ・授業中はほとんどの生徒が出来ているが、時間が経つと忘れてしまうことがあるため、同じ問題を何度も繰り返すなどして、内容を定着させられるよう努力していく。
- ・発展的な問題よりも、基礎基本の問題に課題があるため、単元毎に総復習する時間を設け、取り組ませる。
- ・小学校の既習内容が定着していない単元があるかもしれないため、そこも含めて取り組ませていく。
- ・毎日の家庭学習の仕方の工夫を掲示したりして、さまざまな学習方法を伝えることで、それぞれの生徒が自分にあった学習方法を見つけやすいよう取り組んでいく。